

リニア中央新幹線工事の中止を求める請願書

紹介議員（署名（自署）又は記名押印）

わいの 恵子
下奥 奈歩

[請願内容]

- 1.愛知県として、技術的にも未熟、採算性、安全性も確保できていない、自然環境と生活環境を破壊するリニア中央新幹線の推進をやめて、国土交通大臣にリニア新幹線建設の工事認可を取り消して、即時工事を止めるように申し入れてください。
- 2.リニア建設工事で、リニア名古屋駅開削地・県内の5箇所非常口・残土運搬ルート周辺の住民は、騒音、振動、排気ガス、粉じん・交通災害など10年にも及び、苦痛を強いられます。
愛知県珪砂組合掘削地(瀬戸市)に工事発生土を持ち込むことを止めるように、国とJR東海に申し入れてください。
- 3.リニア名古屋駅開削工事地域では、住民の意に反して立ち退きを迫っています。住民に納得のゆく説明もされない駅前開発を名目にした工事止めるように、JR東海に申し入れてください。

[請願理由]

JR東海は、リニア中央新幹線を大阪まで9兆300億円以上(名古屋まで5兆4千3百億円以上)を自己負担で建設するとしています。2013年にJR東海の山田佳臣社長(当時)が「絶対にペイしない(引き合わない)」と述べました。計画は人口減少による収益減・借入金の利払いは加味しない過大な需要予測と収益増で毎年5兆円を超えない範囲の返済計画をたてていますが、南アルプス工事の難航、長期化が予想され、建設材料の高騰、金利の上昇などで工事費は膨らみ、赤字必至の事業です。この事業に政府は財政投融资で3兆円もの公的資金を議論もされないまま投入することを決めましたが、それで採算がとれる保証はありません。

リニア新幹線事業は品川・名古屋間の286kmの内86%の世界に例を見ない地下トンネルの建設は自然環境と生活環境を破壊する取返しの付かない工事です。リニアは12以上もの活断層の中を走行します。東海・東南海・南海地震に遭遇したら甚大な事故になります。

トンネル工事による残土が瀬戸市の愛知県珪砂協同組合掘削地に運び込まれる計画が明らかになりました。瀬戸をはじめ春日井市、名古屋市中区、東区、西区、中村区、守山区では工事車両や残土運搬車両による騒音、振動、粉塵による健康被害、家屋などの損壊を心配して、住民説明会を開いてほしいとの声が上がっています。

リニア名古屋駅開削工事では駅前開発の名のもとに愛知県・名古屋市・JR東海が3者協定を結んで「名古屋まちづくり公社」が開削工事区域の住民に立ち退きを迫っています。住民、地権者からは「長い間住み慣れた土地を離れることはできない。立ち退きを強制しないでほしい」「境界線が曖昧で、自宅がどうなるのか将来が見通せず不安」など切実な声が上がっています。

県民の生活と安全を守ることは、愛知県政の責務です。よって請願いたします。

2017年2月20日

愛知県議会議長 鈴木 孝昌 殿

住所 春日井市関田町3丁目117番地1号

氏名 リニアを考える愛知県連絡会 代表 川本 正彦 TEL090-9926-8346

住所 愛知県豊田市寺部町3-76

氏名 リニアを問う愛知市民ネット 代表 小林 収 TEL090-3384-7003